

南北朝時代と室町時代.2

名前 解答

解答

- 問1 鎌倉幕府を倒した後、建武の新政という天皇中心の政治をはじめたのは誰か。
 (後醍醐天皇)
- 問2 北朝と南朝が争った時代を何というか。
 (南北朝時代)
- 問3 北朝とは何か。
 (足利尊氏が新たな天皇を京都にたてることによって生じた朝廷)
- 問4 南朝とは何か。
 (後醍醐天皇が吉野(奈良県)に逃れることによって生じた朝廷)
- 問5 1338年に征夷大将軍に任命された人物は誰か。
 (足利尊氏)
- 問6 室町幕府によって統治が行われていた時代を何というか。
 (室町時代)
- 問7 幕府は、守護に強い権限を与えた。このため、守護は領地を拡大したり、多くの武士を自分の家来にして力を持つようになった。このような守護を何というか。
 (守護大名)
- 問8 南北朝が統一されたときの将軍は誰か。
 (足利義満)
- 問9 幕府は、京都でお金の貸し付けなどを行っていた土倉や酒屋を保護した。これにより、幕府は、どのような利益を得たか。
 (保護するかわりに税を取り立てた)
- 問10 足利尊氏について述べたものとして正しいものを次から選べ。
 (①)
- ①鎌倉幕府の御家人だった。
 ②承久の乱では、鎌倉に攻め込んで鎌倉幕府を滅ぼした。
 ③南北朝時代には、南朝を支持した。
 ④太政大臣に任命された。
- 問11 室町幕府について述べたものとして誤っているものを次から選べ。
 (④)
- ①将軍を補佐する役職として管領が置かれた。
 ②金閣を建てたのは、第3代将軍の足利義満である。
 ③室町幕府の由来は、足利義満が京都の室町に足利将軍家の御所を建てたことである。
 ④朝廷を監視するための六波羅探題を置いた。
- 問12 幕府や寺社が関所を設けたのはなぜか。
 (通行税を取るため)

